# お詫びと訂正

2026年版 大学赤本シリーズ No. 416『明治薬科大学』

本書におきまして、内容の一部に誤りがございました。 訂正箇所をお知らせいたしますとともに、謹んでお詫び申 し上げます。

教学社編集部

記

#### 2025 年度 p. 166 化学 大問Ⅲ 問2 解答

題 反応式: 2Cl<sup>-</sup> + 2e<sup>-</sup> → Cl<sub>2</sub>
正 反応式: 2Cl<sup>-</sup> → Cl<sub>2</sub> + 2e<sup>-</sup>

## 2025 年度 p. 166 化学 大問Ⅲ 問 5 解答

誤 12.6 正 12.3

#### 2025 年度 p. 167 化学 大問Ⅲ 問 5 解説

正 電解後、III槽の水酸化物イオンのモル濃度は  $[OH^-] = 1.00 \times 10^{-2} \times \frac{1000}{500} = 2.00 \times 10^{-2} \text{ [mol/L]}$   $pOH = -\log_{10}[OH^-] = -\log_{10}(2.00 \times 10^{-2})$   $= 2 - \log_{10} 2 = 1.7$   $水のイオン積は1.0 \times 10^{-14} \text{ (mol/L)}^2 なので$ 

pH = 14 - 1.7 = 12.3

(裏面に続く)

## 2025 年度 p. 193 化学 大問V 問4 b 解答

誤 試薬:1

方法と期待される現象: 試薬1を加えて加熱すると銀鏡が生じる。

正 試薬:5

方法と期待される現象: 試薬5を加えると、気体が発生する。

#### 2025 年度 p. 193 化学 大問V 問 4 解説

正 ギ酸は炭酸よりも強い酸であるので、炭酸水素ナトリウム水溶液を加えると、弱酸の遊離により気体の二酸化炭素が発生する。

HCOOH + NaHCO<sub>3</sub> → HCOONa + CO<sub>2</sub> + H<sub>2</sub>O

なお、試薬1を用いた場合、ホルムアルデヒド、ギ酸ともに還元性を示す ため区別することができない。

### 2025 年度 p. 194·195 化学 大問VI 問 5 解答·解説

以上